

事例14：黄色い魚

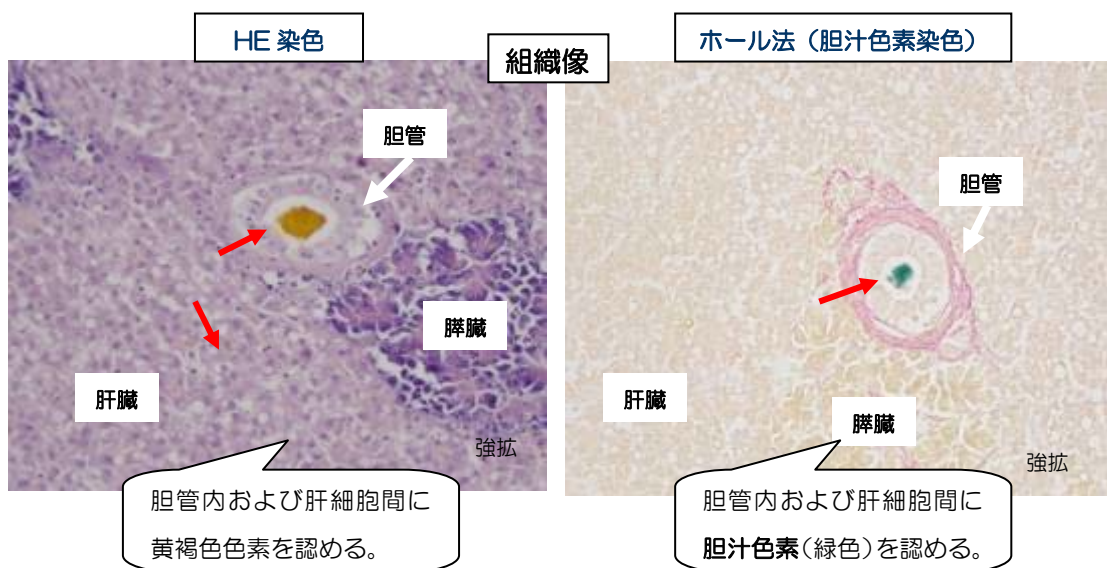
品 名：ウスバハギ

相談概要：漁で捕れたウスバハギの中に黄色い個体が混入していたので調べてほしい。

検査方法：肉眼による観察。

ホルマリン固定後、組織標本を作製し顕微鏡で観察。

理化学検査で筋肉および肝臓中のビリルビン値を測定。



理化学検査 肝中総ビリルビン測定法（Rappaport-Eichhorn 変法）

依頼品のビリルビン値は肝臓、筋肉ともに対照品よりも高い値を示した。

検査結果：組織検査および理化学検査の結果より、黄色い魚の原因は**黄疸**によるものであることが判明。